

半導体用高純度薬液 中小型容器充填設備刷新の取り組み

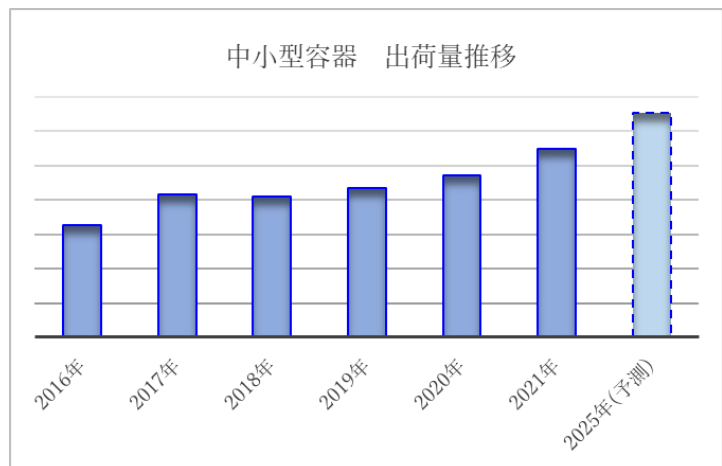
このたび、当社の主力製品である半導体用高純度薬液に関し、中小型容器の充填設備を刷新することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 背景

半導体の製造工程におけるエッチング・洗浄用薬液として、当社の高純度フッ化水素酸および機能性薬液は、国内・海外の半導体メーカーでご使用いただいております。半導体市場の成長に伴いその需要は堅調に推移しています。

このうち特に海外の半導体メーカーに向けた製品販売におきましては、機能性薬液の販売が増加傾向にあり、これには多様な品目が存在することも起因し、取扱いや運搬における利便性から中小型容器による供給を求められる傾向にあります。また、国内半導体メーカーにおいても同様にその要望が高まっています。中小型容器による製品出荷量は、2025年には2016年と比較すると約2倍に及ぶことが見込まれ、以後も増加していくものと予想しています。

そのため当社では、長期的な視野に立ち、ユーザーのご要望にお応えすることで競争力の維持・強化を図るべく、「中小型容器の充填能力強化」を第3次中期経営計画の取り組み事項として掲げております。



2. 計画概要・効果

中小型容器充填設備の刷新および集約を行い、国内外の半導体メーカーの需要拡大に応じていくべく、充填能力向上と効率化、工程費削減等を実現してまいります。

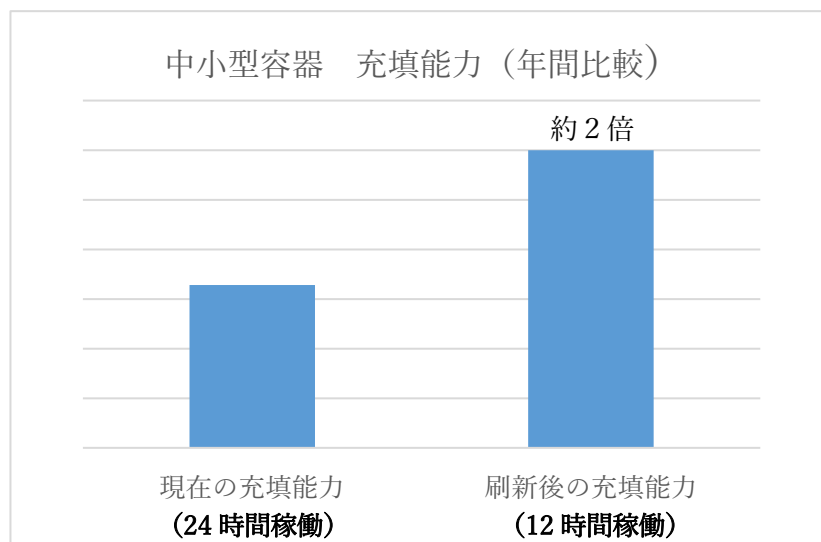
(1) 計画概要

- ①設備の場所 大阪府堺市堺区海山町7丁227番地
ステラケミファ株式会社 三宝工場
- ②工期 着工予定 2023年1月
竣工予定 2024年3月
- ③投資金額(予定) 約54億円

(2) 効果

① 充填能力

設備の刷新・集約により、中小型容器の充填能力は現在と比較すると大きく向上いたします。現在の 24 時間稼働の充填能力に対し、12 時間稼働でも約 2 倍の充填能力を有することとなります。



② 業務効率化による工程費削減・人的資源の有効活用

省力化や設備管理の効率化、また稼働時間を現在の半分とする場合でも約 2 倍の充填能力を実現できることから、人員配置や勤務体制の見直し（深夜勤務の廃止など）が可能となります。これにより、工程費が削減でき、さらにはダイバーシティの観点も含めた人的資源の有効的な活用に繋がるなど、企業の持続的成長に寄与する効果も期待できます。

③ 災害に強く、環境に優しい生産設備

刷新する設備では、地震による津波や水害を想定して電気関連設備を全て上層階に配置し、建物周囲には止水板を設置することで緊急時に建物内への浸水を防ぐ構造とするなど、災害に強い設備を実現いたします。

また、冷凍設備に環境負荷が極めて低い冷媒を使用するなど、地球環境の保全に配慮した設計に努めています。

当社では今後も引き続き、半導体メーカー各社の需要拡大や技術革新を見据え、高品質製品の安定供給体制強化やユーザー要望にお応えすることで他社との差別化を図るなど、主力事業の強化に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

ステラケミファ株式会社 総務部 IR 担当

TEL : 06-4707-1511

Email : kanri@stella-chemifa.co.jp

以上